

UNIVERSITY CONSORTIUM KYOTO



財団 大学コンソーシアム京都
法人 The Consortium of Universities in Kyoto
URL <http://www.consortium.or.jp>

会 報

2008.10 No.33

特 集 Part1

秋・京都 学生 彩る 芸術のまち

(京都国際学生映画祭、芸術系大学作品展、
京都学生アートオークション)第6回頑張ってます！ 京都の大学・短期大学
新たな改革へチャレンジ！

インターンシップの活動日誌パート1

特 集 Part2

大学コンソーシアム京都の
職員意識調査結果レポート

インターンシップの活動日誌パート2

TOPICS

PROJECT REPORT

Information

近日開催予定の行事・イベント



【京都女子大学短期大学部】〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35

発行／財団法人 大学コンソーシアム京都 事務局／〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下るキャンパスプラザ京都 TEL:075-353-9100 FAX:075-353-9101

秋・京都 学生 彩る 芸術 の まち



第11回京都国際学生映画祭

Kyoto International Student Film & Video Festival 2008

本映画祭は、上映機会の少ない学生が制作した自主映画を世界各地より京都に集め、上映する機会を学生が創出し、未来の映画人(制作者・上映者)の発掘と養成を目指します。同時に映画祭運営を自主的に行う学生のプロデュース力を養成し、さらには映画をとおり国境を越えたコミュニケーションと相互理解の場を創出しています。



今年度は、世界各国から送られてきたコンペティション入選作品や、現在第一線で活躍されている監督の学生時代の作品を上映予定しております。

今年のテーマは「学生の晴れ舞台」!!

今年度、11回目を迎える京都国際学生映画祭。日本で最大規模の学生映画祭として毎年開催しております。

今年は、「学生の晴れ舞台」をテーマに掲げ、みなさんに楽しんでいただける映画祭を企画しております。

学生映画をみれば、映画の「カコ」「現在」「ミライ」がみえる!コンペティション募集に寄せられた学生の自主映画・映像作品を上映する<コンペティションプログラム>をはじめ、現在活躍されている映画監督に、学生の頃に作っていた作品を提供してもらい上映する<特別プログラム>など、普段とは一味も二味も違う映画の世界へ出かけてみませんか?

実行委員長 高島 隆(龍谷大学 文学部3回生)

第11回京都国際学生映画祭

【開催日】2008年11月22日(土)~28日(金)

【会場】京都シネマ<11月22日(土)~28日(金)>
同志社寒梅館<11月24日(祝・月)>

【企画内容】コンペティション入選作品の上映
「監督の原点に還る」…現在活躍中の監督が学生の頃に撮られた作品を上映。

〔作品提供〕山村浩二監督、山下敦弘監督、瀬々敬久監督、大森一樹監督、河瀬直美監督

【主催】財団法人大学コンソーシアム京都

【運営企画】第11回京都国際学生映画祭実行委員会

【運営支援】京都国際学生映画祭企画検討委員会

第11回京都国際学生映画祭inKIF

毎年恒例、京都学生祭典との連携を今年も行います。

【開催日】2008年10月12日(日)

【会場】京都府会館第二ホール

【上映作品】映画「ブタがいた教室」のプレミア試写会
配給:日活

第7回新京極映画祭連携企画

【開催日】2008年11月8日(土)・9日(日)

【会場】『le club jazz』

【企画作品】実験映画の上映(学生作品・牧野監督作品・伊藤監督作品)
トークショー・対談

※詳細は、公式HPをご覧ください。下記お問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

第11回京都国際学生映画祭実行委員会

TEL:075-353-9430(月曜休)

E-mail:kisfvf2008@hotmail.co.jp

公式HP:http://www.kisfvf.com/



芸術系大学作品展2008

～ART UNIV.2008～

今年度で第9回を迎える芸術系大学作品展は、昨年度に引き続き、キャンパスプラザ京都と元立誠小学校の2会場で開催します。

京都で学ぶ芸術系10大学の学生の合同作品展をとおして、大学間の垣根を越えた学生・教員の交流や連携の促進を目的としている本事業ですが、さらに、市内の繁華街を舞台に開催することで、大学と地域の交流の場、学生の創作活動を広く紹介する機会を創出し、地域連携を図りながら、文化芸術による地域のまちづくりの一助とすることをめざします。



芸術系大学作品展2008のさらなる魅力

芸術系大学作品展の魅力は、10の芸術系大学の学生の作品が、京都の「まちなか」に一堂に会するところにありますが、さらに出展学生と来場者の交流の場としての芸術系大学作品展にもご注目いただきたいと思います。

展覧会の来場者にとって、会場で見つけた気になる作品について、作者に直接尋ねることができる機会はあまり多くありません。その点、芸術系大学作品展では、会期中、出展学生が各会場におられますので、作品のことに限らず、さまざまな意見や情報を交換していただきたいと思います。また、こうした交流は、普段とは違う新たな発見があると出展学生にも大変喜ばれています。

その他、どなたでも参加できるオープニング・パーティや作品発表会なども行いますので、ぜひお越しください。

開催概要

【開催日】2008年11月11日(火)～11月23日(日)

【会場】①キャンパスプラザ京都
(10:00～21:00[11月17日(月)休館])
②元立誠小学校(12:00～19:00)

【出展大学】京都の芸術系10大学
池坊短期大学、京都嵯峨芸術大学、京都工芸繊維大学、京都教育大学、京都嵯峨芸術大学短期大学部、京都市立芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、大阪成蹊大学芸術学部、成安造形大学

【主催】財団法人大学コンソーシアム京都
芸術系大学作品展実行委員会

【共催】立誠・文化のまちプロジェクト運営委員会

オープニング・パーティ

【開催日】2008年11月11日(火) 時間未定

【会場】元立誠小学校

作品発表会(プレゼンテーション)

【開催日】2008年11月16日(日)

【会場】①元立誠小学校(13:00～15:00)
②キャンパスプラザ京都(16:00～18:00)

※詳細は、公式HPをご覧ください。下記お問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

財団法人大学コンソーシアム京都

TEL:075-353-9100(月曜休) FAX:075-353-9101

E-MAIL:art@consortium.or.jp

公式HP:http://www.consortium.or.jp/link/artuniv.html



京都学生アートオークション2008

～Kyoto Student Art Auction 2008～

京都学生アートオークションは、2006年度に芸術系大学作品展の連携企画として始まり、3回目を数えます。京都の芸術系大学の学生が、作品をとおしてオークションという実際のアートマーケットに触れることで、「芸術家」としての今後の進路を形成するための第一歩を踏み出す機会をつくっています。さらに、その作品を京都の市民・企業が購入することで、産・学・地域連携による京都の地で芸術家をめざす学生を育てるしくみを創出することを目的としています。



京都学生アートオークション2008のさらなる魅力

京都学生アートオークションは、大学で美術を学ぶ学生の作品をオークションにかけるというユニークな企画であると同時に、キャリア教育としての面を重要視しています。出品希望の学生には、連続講座を受講することを義務づけ、講座をとおして、アートと社会がどのように結び付いているか、「作品を売る」とはどういうことなのかを意識してもらいます。さらに、プレビューやオークションを実践として、自分の作品を言葉で表現する方法を学びます。

また、過年度には、京都学生アートオークションで初めてアート作品を買ったという方や、来場者との交流をきっかけに、その後も活発な作家活動をしているという学生もあり、確実に新たなアートマーケットを創出する機会となっています。

開催概要

(1) 連続講座(第1回～第3回は公開講座)

第1回「作家とマーケットの関係について」

日時:2008年8月7日(木) 18:20～21:00

場所:キャンパスプラザ京都 4階 第3講義室

第2回「オークションについて」

日時:2008年10月18日(土) 18:20～21:00

場所:キャンパスプラザ京都 4階 第3講義室

第3回「プレゼンテーションについて」

日時:2008年11月8日(土) 18:20～21:00

場所:キャンパスプラザ京都 5階 第1講義室

第4回「出品作品選考会」

日時:2008年12月6日(土) 18:20～21:00

場所:キャンパスプラザ京都 5階 第2～4演習室

第5回「事後学習会」

日時:2009年3月

場所:キャンパスプラザ京都

(2) プレビュー(展示)

日時:2009年2月10日(火)～2月15日(日)

10:00～21:00(最終日は10:00～14:00)

場所:キャンパスプラザ京都 1階 情報交流プラザ

(3) オークション

日時:2009年2月15日(日) 15:00～18:00

場所:キャンパスプラザ京都 1階 情報交流プラザ

【主催】財団法人大学コンソーシアム京都

【企画運営】京都学生アートオークションワーキンググループ

※詳細は、公式HPをご覧ください。下記お問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

財団法人大学コンソーシアム京都

TEL:075-353-9100(月曜休) FAX:075-353-9101

E-MAIL:art@consortium.or.jp

公式HP:http://www.consortium.or.jp/link/ksaa.html

新たな改革へチャレンジ！

大学コンソーシアム京都の加盟大学・短期大学の変化を追うこのコーナーでは、2009（平成21）年度に、改組、学部・学科を新しく設置する大学・短期大学、をピックアップいたしました。

今回は、10大学・短期大学を取り上げてご紹介いたします。

既存の魅力ある学部・学科等は、各大学・短期大学のホームページか各大学・短期大学にお尋ねください。

貴方が求める「学び」が、きっとそこにあります！

学 科 環境文化学科

コース エステティシャンコース **新 設**

大学発のエステティシャンコース！

ポイント①

おもてなしの精神を華道・茶道で育てる

池坊短期大学独自の必修科目「華道」や「茶道」等を通じてお客様をおもてなしする「和と美」の精神を学び、幅広い教養科目を通じてエステティックスを学問します。

ポイント②

1000時間の専門カリキュラム

エステティシャン関連資格が取得できるよう、約1000時間の理論・実習（フェイシャル、ボディ、脱毛等）を学び、社会で活躍できる人材を育成します。

ポイント③

エステ関連資格の取得を目指す

エステ業界の協会認定を受けたサロンに就職するには、協会認定の認定エステティシャンになることが必要です。本学では、日本エステティック業協会（AEA）認定エステティシャンなどの資格取得を目指します。



学 部 文学部

学 科 教育・心理学科 **新 設**

こどもの“こころ”がわかる教員を育てる

2009年4月、従来の教育学科とも心理学科とも異なる、新しい教員養成を目的とした「教育・心理学科」を開設します。

現代の教員は各教科の知識や教育技能だけでなく、こどもをめぐる複雑な問題に柔軟対応し、こどものこころをのびやかに育む力が求められています。教育・心理学科では、学校現場で求められている「こどもの理解を深める」、特に「集団のなかでのこどもたちの“こころを知る手がかり”を得る」ために教育学・心理学の2つの専門を学ぶことを特徴としています。

教育・心理学科の4つの特色

1 カリキュラムの特徴

人間理解の姿勢と能力を習得
こころを知る「心理学」の授業も豊富
参加型・体験型授業を重視
人との関係性を築く 能力・技能を育成

2 指導方針

学校教育現場の経験者など 15名の専任教員が指導
不得意科目も克服 少人数体制で徹底指導

3 サポート体制

苦手意識を克服するための 課外講座を用意
学習・実習・教員採用をサポート「教職支援センター」

4 取得資格

小学校教諭一種免許状（課程認定申請中）
幼稚園教諭一種免許状（課程認定申請中）
認定心理士

学 科 哲学科 **改 編**

コース 西洋哲学・日本哲学コース
倫理学・人間関係学コース
宗教学・死生学コース

2009年4月、現代の諸問題に取り組む人物の育成を目指し、社会の中で「あるべき自分」を考え、今を生きる知恵を身につける“21世紀の哲学”を展開します。

大谷大学短期大学部

2009年4月、コース制スタート

学 科 仏教科

コース 人間とこころコース **新 設**
実践仏教コース **新 設**

学 部 人間文化学部

学 科 国際ヒューマン・コミュニケーション学科 **新 設**新しい時代を美しく、力強く、
賢く生きる国際人を育てる

豊かな国際教養と高度なコミュニケーション能力をそなえた人材を育成する国際ヒューマン・コミュニケーション学科。世界で通用する英語力を鍛え、美・安全・環境といったテーマをとおして、グローバルな視野で考え、行動する人を育てます。千年の歴史を持つ国際都市・京都で、伝統と革新のスピリットを養います。

個性的なコースで自由に学ぶ

- ◆ 個性的な4コース：「英語コミュニケーション」「美と国際教養」「安全社会と環境」「国際京都学」
- ◆ 各コースを横断して自分だけの学びを自由に創ることも可能

きめこまやかな少人数教育 身につく体験的学習

- ◆ 専門ゼミ、実習、フィールドワークで少人数クラスを実現
- ◆ 一人ひとりの個性にあった丁寧でこまやかな学びが可能
- ◆ 身につく体験的学習を重視したカリキュラム構成

国際教養とコミュニケーション能力の育成

- ◆ 国際都市・京都という恵まれた環境で生きた教養を学ぶ
 - ◆ あなたの将来に役立つキャリア形成をしっかりとサポート
 - ◆ 社会人に必要な礼儀作法やコミュニケーション能力も育成
- ※「エアライン講座」「国際マナー講座」も開設



京町家キャンパス「新柳居」

「新柳居」は、京都市の中心部「烏丸四条」近くに誕生した、京都学園大学の新たな学びの拠点。京都の歴史・文化を学び、国際交流するのに絶好のロケーションです。

学部 法学部

学科 法政策学科 新設

NEW 法学部 法政策学科

安心して暮らせる社会の実現をめざし、法律と政治の知を問題解決に活かす。法学部は従来の法律学科に加え、法政策学科を新設します。

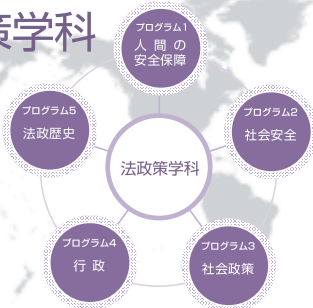


安心して暮らせる社会の実現をめざし、法律と政治の知を問題解決に活かす。

2009年4月開設の法政策学科が目指すのは、法律学と政治学の「知」を問題解決に活かす「政策実践力」の養成です。将来の進路としては、各種の国家公務員職はもとより、警察・消防あるいは地方自治体等、幅広い公務員職が挙げられます。

新学科の特徴として、実務家教員または実務に精通した研究者教員を念頭に、理論と実践の架け橋を意識したカリキュラムを編成し、法学の領域を中心としつつも、政策学などの幅広い領域に踏み込んで学べる、非常に柔軟なスタイルをとっています。さらに、問題発見や問題解決の実践能力を高めるために、学外での体験型実習科目「フィールド・リサーチ」を設けています。

学修にあたっては、学生が自らの関心や職業観に基づいて、専門分野を系統的に学べるよう、「人間の安全保障」「社会安全」「社会政策」「行政」「法政歴史」の5つの履修プログラムを設け、社会の諸分野で公共的課題に取り組む人材の養成を目指します。



履修プログラム

人間の安全保障プログラム

世界の平和を人間個人の安全という観点から考え直す。

外交・防衛、治安、開発援助、文化交流に関心を持つ人が対象となります。世界を見据えた日本の外交政策を考察。人間一人ひとりの安全を考えられる幅広い視野を育みます。

社会安全プログラム

非行・犯罪から社会安全を考察する。

警察官や消防士など、将来は社会安全に関わる分野で活躍したい人のために設定したプログラムです。犯罪予防策を考察。法学に加え、社会学や心理学などの諸科学を総合的に学び、政策提言できる力を養います。

社会政策プログラム

少子高齢化や格差社会における社会制度のあり方を検討する。

企業、NPO等での公共性のある仕事や、政治・行政分野を目指す人を対象に、法律・政治・実務を総合的に学びます。新しい時代における「公共性」を考え、多角的な考察のもと、社会制度として実現する政策を立案します。

行政プログラム

公務員育成を主眼に政策立案プロセスや問題対処能力を学ぶ。

公務員として活躍し、公共の利益に奉仕できる人材の養成を目指します。そのため、公務員試験を見据えた教育を展開。社会の諸問題を認識し、対処できる政策立案能力を身につけます。

法政歴史プログラム

近現代の法政歴史から現代社会を問い直す。

近現代の社会を法政史的・政治史的に考察し、現代社会が成立した過程を学修。歴史に関する諸学問を幅広く修得し、新しい時代の社会のあり方を考察します。

学部 人文学部

学科 総合人文学科 改組予定

2009年4月人文学部は5コース制に、さらに充実して生まれ変わります。1年次に大学で学ぶ基礎をしっかりと身につけた後、2年次より、幅広い学びの中から、自分に合ったコースを選択します。コース所属後も、他コースの科目を履修することが可能。さらには、本学の芸術・デザイン・マンガ学部の講義科目も取得でき、興味や将来の夢に合わせた自分オリジナルのカリキュラムを作り上げることができます。



コース 現代文化表現コース

すべてのポップカルチャーは「時代」を映す。作品を読み解き、新たな表現の可能性を探る。

映画、音楽、マンガ、ファッション、ダンス、空間デザインに小説。身近なポップカルチャーの表現を理論と実践の両面から研究します。実際に制作やワークショップを行う科目も多数あるほか、作家や編集者、広告プランナーなど、プロを招いた集中講座も豊富。未来のコンテンツをつくり出す表現者や、プロデューサーを育てます。



コース 国際コミュニケーションコース

英語を読み、書き、話し、聴く。語学のスキルを磨き、異文化への理解と知識を深める。

生きた英語を使いこなす能力を育てると同時に、グローバルな知識と異文化への理解を深め、国際人にふさわしい総合的なコミュニケーション力を身につけます。語学のスキルアップを目指すプログラム、TOEICやTOEFLなどの試験対策を充実させる一方で、世界各国への短期語学研修や語学留学など「現場で学ぶ」機会もつくります。



コース 日本・アジア文化コース

豊かな歴史と伝統が息づく京都から、日本、そしてアジアの文化と社会の成り立ちを知る。

歴史文化遺産の宝庫である京都という立地を活かし、社寺や史跡、伝統文化の現場を巡るフィールドワークに重点を置くコース。また、北海道から沖縄まで国内各地の生活史、さらには中国や朝鮮半島をはじめ、アジアの歴史や宗教、社会についても学び、ルーツを深く掘り下げていきます。



コース 環境未来コース

水辺や森林から都市、企業社会まで。すべての「環境」と人間の持続可能な未来をつくる。

地球温暖化や水質・土壌汚染といった自然環境問題はもちろん、都市や農山漁村の現状、企業や産業界のあり方など、「環境問題」を広い意味でとらえ、持続可能な社会への道を探究するコース。地域の森林や水質の保全に携わったり、企業や役所の環境負担を減らすルール（EMS）構築を手掛けたりと、学外での実践的な学びを重視します。



コース 現代社会と人間コース

メディアの進化や価値観の多様化が社会問題を生む。「人間」を手掛かりに、解決策を探る。

家族のあり方や関係の変化、ますます進む高齢化社会、学校や教育制度の揺らぎ、ジェンダーが生む差別や格差……。現代社会が抱える問題の原因や背景を探り、解決策を模索するコース。心理、身体、教育、福祉、思想など、さまざまな観点から、現代社会と、自分も含めた人間の関係を考え、社会に提言できる力を身につけます。



学 科 家政学科

健康で豊かな生活環境を創造し、
構築できる人材を育成します。

専 攻 健康生活デザイン専攻 **新 設**

〈定員:70名、男女共学、平成21年4月開設計画〉

健康的で価値のある生活を自らが積極的に実現(デザイン)できる人材の育成を目指します。「環境・余暇・身体活動・地域・情報」をキーワードに、生涯を通して健康的な日常生活を営む上で、豊かな人間生活を構築することのできる知識と技術を学べるカリキュラムが充実しています。また、健康や体力の維持・向上に重要な「運動とスポーツ」を対象者に応じプログラムし、指導・助言できるスペシャリストを養成します。



取得可能資格 健康運動実践指導者、スポーツリーダー、情報処理士、NSCA-パーソナルトレーナー(国際ライセンス)

学 科 幼児教育学科 **改 名** 〈平成21年4月名称変更計画〉

心を育む感性と
表現力豊かな保育者を養成します。

専 攻 幼児教育専攻 **改 名**

〈定員:250名、平成21年4月名称変更計画〉

乳幼児の保育、教育の重要性を理解し、「子どもの目線」で柔軟な思考と表現力を持った保育者の養成を目指します。音楽・造形・運動あそびなどの表現領域を充実させたカリキュラムは、学生自身の創造性と発想力を育み、保育者として必要な心の豊かさと感性を身に付けられるようプログラムされています。さらに、本学附属幼稚園との密接な連携により、子どもたちとのふれ合いから保育、教育の実践力を養います。



取得可能資格 保育士資格、幼稚園教諭二種免許、保健児童ソーシャルワーカー

学 部 心理学部 **新 設**学 科 心理学科 **新 設**

心理学の専門的教育を受けた人材の活躍の場が、臨床をはじめとする社会の各分野で拡大し、現代社会における人間の心理メカニズムに対する関心も高まっています。同志社大学は、このような時代のニーズに応じた教育・研究活動にも積極的に取り組むため、80年の教育・研究実績を持つ文学部心理学科を発展させ、2009年4月に心理学部を開設いたします。心理学部で

は、神経・行動心理学コース、臨床・社会心理学コース及び発達・教育心理学コースの3コースを設け、伝統の少人数教育を継承し、プロジェクト型教育を更に充実させることで、社会に通用する実践力を培います。

21世紀を迎えた現在、人間、文化、そして先端技術が融合した快適で安全な社会を実現させることが重要です。心理学部は、同じ京田辺校地を拠点とする生命医科学部、スポーツ健康科学部、文化情報学部及び理工学部との連携や、産業界や教育・医療機関等との連携によって実践的な教育・研究を目指し、こころを扱う領域として社会に貢献していきます。

履修プロセス		1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	講義系	心理学概論	心理学研究法	認知・感情・適応の心理学	演習（ゼミ） 卒業論文
		心理学統計法／外国書購読			
	演習系	ファーストイヤーセミナー			
	実習系	心理学実験演習	臨床心理学実習	心理学データ解析実習	
選択必修科目	実習系		心理学実験 プロジェクト演習（認知）	神経・行動心理学実験演習	
			心理学実験 プロジェクト演習（感情）	臨床・社会心理学実験演習	
			心理学実験 プロジェクト演習（適応）	発達教育心理学実験演習	
選択科目	神経・行動		生理心理学／感情心理学／スポーツ心理学／学習心理学／神経情報科学／ 認知心理学／行動分析学／精神生理学／比較認知心理学		
	臨床・社会		臨床心理学／心理療法／交通心理学／パーソナリティ心理学／精神病理学／ 安全・安心の心理学／健康心理学／実験社会心理学／環境心理学／産業・組織心理学／ 臨床社会心理学／犯罪心理学		
	発達・教育		発達心理学／臨床発達心理学／家族心理学／乳幼児心理学／学校心理学／ 高齢者心理学／教育心理学／生徒・進路指導の研究／ヒューマン・モチベーション／ 発達と学習の心理学／学校カウンセリング		
	共 通	心理学情報機器基礎	心理学史／心理学特論／多変量解析法の基礎		

学部 子ども学部 新設

学科 子ども学科

子どもをめぐる新しい社会的ニーズに対応できる能力を持った人材が圧倒的に不足している中、キリスト教主義に基づく本学では、生命と人間性を最も大切に、次の4つのスキルと問題解決能力を持った人材を育成します。

Skill ① 幼・保～小学校への橋渡しをしっかりとできる人材

保育所・幼稚園・小学校へとつながる幼児教育の一貫性を担う知識とスキルを持った人材です。保育士・幼稚園教諭は、小学校における教育課題を理解して、幼児教育や保育を行います。

また小学校教諭は、保育所や幼稚園児の愛情や問題点を熟知して、一人ひとりの児童に対し学校生活への順応と日々の学びを支援します。



KEYWORD ★橋渡しの役割を果たすことのできる人材育成

Skill ② 小学校での高度教育を担える新時代の教員

現在、文部科学省が提唱しているように、英語教育の導入など国際的に通用する高い学力やスキルを修得するための教育が、小学校に課せられた大きな課題となっています。従来求められてきた教員の資質ではこれらに十分対応しきれず、教育現場では少なからず混乱が起きています。「子ども学部」は、新しい時代の小学校教育に対応できるハイレベルな教員養成を行います。本学は、家政・保育の永い伝統を有し、衣・食・住の教育ノウハウと優れた教員陣を擁しており、こうした課題を実践できる最適の条件を備えています。

KEYWORD ★英語教育の導入など小学校教育の高度化に対応できる教育内容
★衣・食・住の教育ノウハウの提供
★特進クラスの設定
★京都市・高槻市・伊丹市の各教育委員会との連携

Skill ③ 新しい「子どもマーケット」を担うプロフェッショナル

少子化社会の進展につれ、従来「子ども」と無縁であった産業を含め、衣・食・住をはじめあらゆる分野において、「子ども」を対象とする新しい商品・サービス・マーケットが誕生しようとしています。こうした中で、総合的な角度から「子ども」を分析研究し、ニーズ発見とソリューションの手法を身につけたプロフェッショナルの誕生は、日本の産業界から大いに渴望されており「子ども学部」はそのテーマに取り組みます。



KEYWORD ★総合的な角度からの「子ども」分析研究
★ニーズ発見とソリューションの手法を身につけたプロフェッショナルの育成

Skill ④ “子育て免許”をもった“親学”のエキスパート

「子育て」に関し、学校教育とともに地域や家庭の役割が強調されています。学校教育を担う教師が、専門的な教育と訓練を経てはじめて実践に携わるのに対し、家庭教育を担う親はこのようなサポートや訓練を受けることなく、いきなり教育を任されているのが現状です。「子ども学部」では、「学校教育」と「家庭教育」の専門家を育てるべく教科を設け、本学独特の「子育て免許」所持者を育てます。また親の役割や責任、親とはどうあるべきかについて無知のまま子どもをもうける人が多い昨今、体系的な「親学」を習得する機会を積極的に創出します。

また、これらの特色ある教育を地域社会と一体となって実践するため、研究施設「子どもランド」を高槻キャンパスに開設する計画です。彫刻の広場や手づくり絵画ロビー、冒険の森、山野草や花・野菜・米作りや遊具・山小屋作りなどを通して、学生の教育実践力を高めるとともに、地域社会への開放を進めます。

KEYWORD ★本学独特の“子育て免許”所持者の育成
★体系化「親学」の修得
★学生の教育実践力を高める研究施設「子どもランド」
★能力を開花させる素地となるジェネリックスキルの

※ジェネリックスキルのとは社会適応能力を身につけること、即ち問題解決能力、分析力、意思決力、コミュニケーション能力、自己批判力、審美眼…この「ジェネリックスキル」を修得し、社会に待望される品格と豊かな教養を身につけた学生を本学から送り出します。

研究科 実践真宗学研究科
実践真宗学専攻（3ヶ年修士課程）新設
（宗教実践分野）
（社会実践分野）

「現代社会の諸問題に対して、宗教がいかにしてその使命を果たしうるか」という課題に応えるために、親鸞聖人の教えを建学の精神とする龍谷大学は、新たに実践真宗学研究科を開設します。

■教育の目的

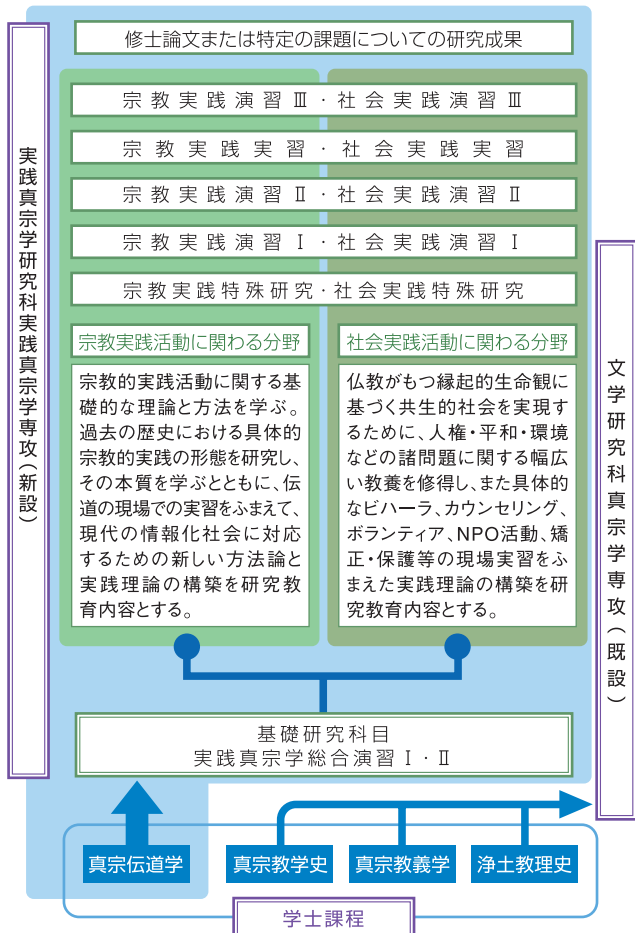
実践真宗学研究科は、教理・教義の研究を中心とする既存の文学研究科真宗学専攻が担ってきた教育・研究を基礎として、複雑化・多様化する現代の問題に、実践的・具体的に対応しうる宗教者のあり方について教育・研究するとともに、社会に求められる宗教的実践者にふさわしい高度な専門的素養の修得を図ることを目的とします。

■学部教育・文学研究科真宗学専攻との関係

現在、文学部真宗学科の教育内容は、浄土教理史・真宗教義学・真宗教学史・真宗伝道学の4つの分野で構成されています。これら4つの分野の内、既存の文学研究科真宗学専攻では、浄土教理史・真宗教義学・真宗教学史の研究を主として行っています。新たに開設される実践真宗学研究科は、既存の学部教育内容にあった真宗伝道学をより充実させ、内容を「宗教実践活動に関わる分野」「社会実践活動に関わる分野」に拡充して、3カ年にわたって研究・教育を行うものです。

■学部教育・文学研究科真宗学専攻との関係

学内外での実習・研修を重視します。理論研究と実践実習に十分な学修時間を確保するために、既存文学研究科と異なり、修業年限を3年とします。学生は、1年次は、実践真宗学総合演習を中心に自身の研究の方向性を定め、2年次からは、〈宗教実践活動に関わる分野〉と〈社会実践活動に関わる分野〉のいずれかの分野を選択して、専門研究科目を履修します。3年次は、実践実習を行い、さらに研究成果の総合として学位論文または特定の課題についての研究成果を作成します。



学部 表象文化学部 新設

学科 英語英文学科、日本語日本文学科

言語や文学に表される「こころのかたち」を読み解き、未来に活かす。

2009年4月、学芸学部英語英文学科と日本語日本文学科は、伝統ある京都・今出川の地で、表象文化学部として新たな歴史を刻みます。

英語
英文学科日本語
日本文学科

表象文化とは

表象 (representation) とは、人間が自己や他者や世界を、さまざまなメディアを使ってイメージする行為、またその行為を通じて生み出されたものを言います。本学部では言語による表象に加えて、絵画や映画、演劇なども研究・教育の対象となります。表象文化という語には、そういったものを、それぞれの国のそれぞれの時代の「こころのかたち」が表されたものとしてとらえようとする思いが込められています。

学びの特色

1. 共通科目－表象文化という「こころのかたち」をとらえます。－
本学部全体を貫く基本的な考え方を学ぶために、表象文化に直接関わる「文学と表象」「文化と表象」および「舞台芸術文化論」という科目が設置されています。それぞれの専門を学ぶ前に新しい思考の枠組を理解し、より広く柔軟な考え方を自分のものにしていきます。
2. 副専攻制度－英語と日本語の教育方法を同時に学べます。－
英語英文学科の学生は、日本語日本文学科に設置されている科目の中から一定数の科目を履修すれば、日本語教育副専攻の修了証を得ることができます。また、日本語日本文学科の学生は、英語英文学科に設置されている科目の中から一定数の科目を履修すれば、英語教育副専攻の修了証を得ることができます。新しい学びの形を積極的に試みてください。
3. 京都研究－京都の伝統と歴史を活かした科目を展開します。－
今出川キャンパスは古都京都の中心である御所のすぐ北に位置します。その立地条件を十二分に活かした科目群が設置されています。楽しみながら生きた京都を学ぶことができる、少し優雅で贅沢なキャンパスライフを楽しんでください。

大学コンソーシアム京都インターンシップ生 実習日記

同志社女子大学 表象文化学部 新設について

同志社女子大学では2009年度より、学芸学部英語英文学科および日本語日本文学科が京田辺キャンパスから今出川キャンパスへ移転します。それと同時に両学科は新しく「表象文化学部」に生まれ変わります。この度は大学コンソーシアム京都でのインターンシップの一環として、企画課のお二人に表象文化学部についてインタビューをさせていただきました。



Q 「表象文化学部」という学部名についてお伺いします。まず「表象」または「表象文化」とは具体的にどのようなものですか？

A 「表象」という言葉はあまり一般的ではないかもしれませんが。表象とは、何かを思い浮かべる行為やその行為によって生み出されたイメージ、そしてそのイメージが表現されたものやその過程、それら全てを広く意味します。ですから「表象文化」の中には文学や語学だけでなく能・狂言・浄瑠璃、シェイクスピア劇などの演劇、最近ではメールに使われる絵文字なども含まれます。

Q 学芸学部との違いはありますか？

A 従来の学芸学部として継承してきた教育・研究についてはもちろん残していきますが、さらに広い概念でより内容豊かな授業を展開します。例えば文学研究一つとっても、この学部では作品自体の内容以外に、作品の作者や時代背景、さらには作者がいた地域の文化など、広がりのある研究が可能です。そういった学びの広がり、学芸学部との違いであると言えます。

Q 「副専攻制度」とはどういうものですか？

A 英語英文学科・日本語日本文学科それぞれの学生が他方の学科の科目を副専攻として履修できます。これによる効果としては、例えば日本語日本文学科で日本語教師を目指している学生が、英語の教育方法も身につけておくことで教養に幅が出ますし、逆に英語英文学科で英語教育の基礎を学んだ学生が副専攻を履修することで、日本語教師としての道も開けます。また言語学においても両学科の科目を履修することにより理解が広がるはずです。

Q 「学部共通科目」についてご説明ください。

A 専門を学ぶ前に表象文化という新しい思考の枠組を理解し、表象文化学部を貫く基本的な考え方を学ぶために、「文学と表象」「文化と表象」「舞台

芸術文化論」といった科目を一年次に設置しています。そこで基礎を固めて、それぞれの専門科目に入っていきます。より広い視野での教育によって、一つのものを学ぶ角度を工夫できる可能性は広がると思います。

Q 「京都研究」は既存の京都に関する科目とは違うものですか？

A はい、これらは全てまったく新しい科目です（「英語で案内する京都」「京ことば」「源氏物語と京都」など）。両学科の教員が担当しており、学生も学科を隔てず共通で学ぶことになります。京都の真ん中で、御所の目の前という立地を最大限に生かし、京都を身近に感じながらリアルで実用的な京都学を展開します。

表象文化学部は、今までの文学や言語の教育の限界を超えてさらに広がりのある学問を展開していく予定です。そして「今出川」という立地をうまく生かした、京都ならではの学びがあります。この学部ではあらゆる事柄に対して多角度から見る姿勢やより大きな世界観を身につけることができそうです。

インタビューにご協力頂いた同志社女子大学企画課の小島隆久様、宮崎淳様、ありがとうございました。

インターンシップ生 井坂彩音 (同志社女子大学 学芸学部)

information

同志社女子大学 表象文化学部開設記念シンポジウム

言語や文化が表す「こころのかたち」～何を読み解き、どう伝えるか～

日時 10月18日(土) 13時30分開演(13時開場) 16時15分終了予定
場所 同志社女子大学今出川キャンパス 純正館
(京都市上京区今出川通寺町西入)

同志社女子大学今出川講座

講演 野上照代氏(元・黒澤プロ・プロダクションマネジャー)
演題 「没後10年 黒澤明がのこしたもの」
対談 野上照代氏、影山貴彦(同志社女子大学学芸学部情報メディア学科准教授)
日時 11月1日(土) 13時30分開演(12時30分開場)
場所 同志社女子大学今出川キャンパス 純正館
(京都市上京区今出川通寺町西入)

新校舎「純正館」(9月末完成)

地上5階地下2階の建物で、教室棟と多目的棟があります。教室棟では主に表象文化学部の授業が行われ、最上階には屋上庭園やラウンジを設けます。多目的棟のアリーナは体育施設として使用するほか、可動式座席を備えておりホールとしてイベントも行います。

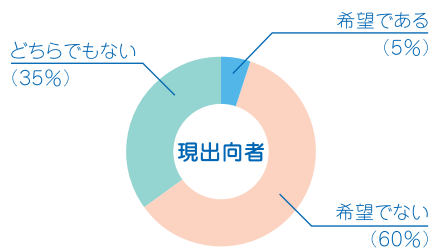
大学コンソーシアム京都の 出向職員の意識調査結果について

大学コンソーシアム京都（以下、本財団）は、1994年に設立され2008年で15年目を迎えている。本財団の歴史は、全国に先駆けた事業の実施等を理念としながら、大学連携によるスケールメリットを活かした取り組みを推進し、全国の大学コンソーシアム組織の中でも質・量の面から牽引的役割を担ってきた。これら事業は、様々な大学での経験、他業種を経て、ここに集まった職員の「職員力」が、15年間絶え間なく注がれてきた結果であるといえる。

今回、この「職員力」の原動力とも言うべき職員の意識について、出向して来たばかりの職員と、出向元に戻り各大学で活躍されている職員にアンケートを採って比較し、どのような変化が起こったのか、検証を試みた。

1 出向希望調査（現出向者のみ）

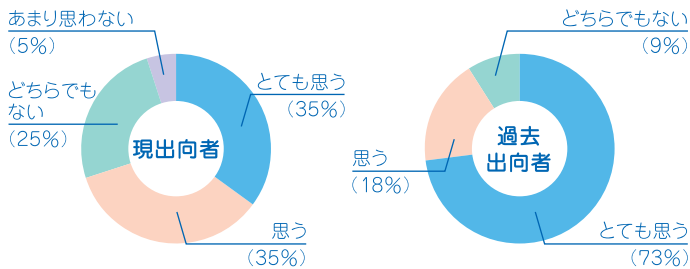
Q.本財団への出向は自らの希望ですか？



本財団を希望した職員はたった5%で、ほとんどが希望をしていないのが現状で、決して望んだ人事異動でなかったようである。

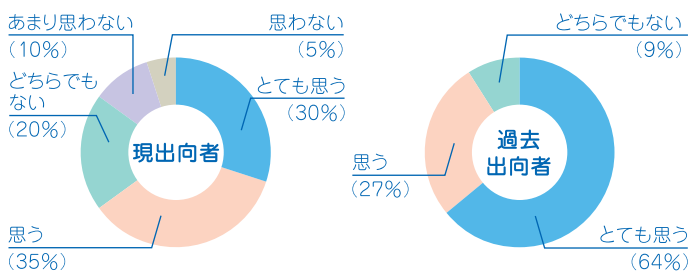
2 出向前後の能力向上

Q.広い視野が身についた



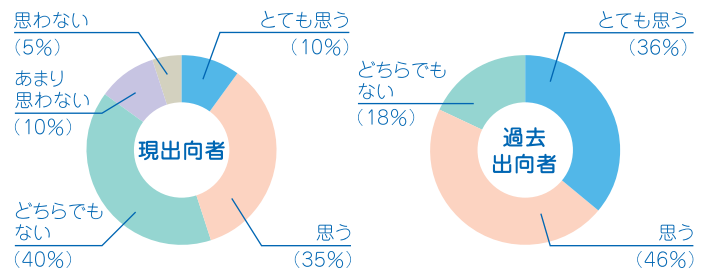
出向直後の職員でも、視野が広がったと感じたように70%が広い視野が身についたと回答、出向元に戻った職員では91%が視野が広がったと回答した。多種多様な業務を担うこと、様々な価値観との出会いがあったことが、大きな変化をもたらしたのではないかとと思われる。

Q.スケールの大きな仕事ができる



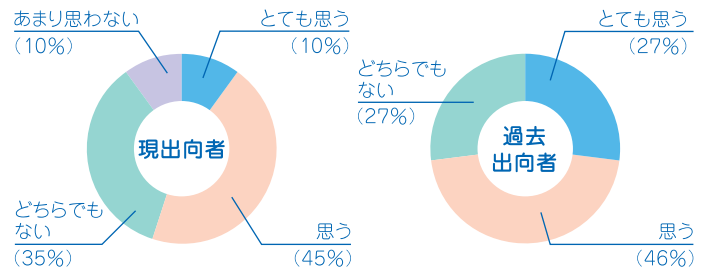
本財団では、「1主幹2事業」という言葉があり、複数の業務を掛け持ちで行うことが当たり前であった。最近では、「1主幹3事業」も多く見受けられる。自分が常に主担当で業務を担うことは、業務執行力、計画力などの総合力が養われ、一つの業務を終えた時の業務達成度、充実度が非常に大きい。その結果がアンケートに反映されたのではないかとと思う。

Q.課題発見力が身についた

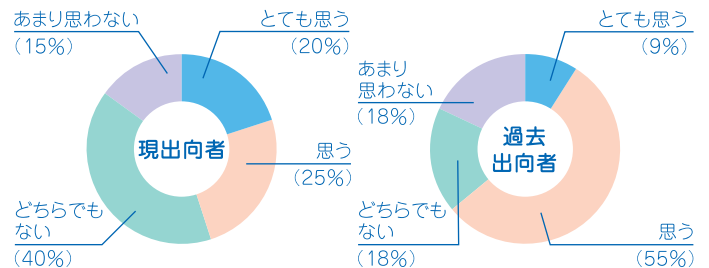


左下記と同じ理由で、業務執行力、計画力などが総合的に養われた結果、課題発見力も身についたものと推察する。

Q.発想力が高まった



Q.業務をやり遂げる力が身についた



業務が輻輳し、様々なアイデアを出して難局を乗り越えなければならぬ時、職員のユニークな発想に勇気づけられ、またそのアイデアを自分流にアレンジして難局を乗り越え、そして学び、成長することができる。

本財団の職員は、非常に活発で、前向きに、何にでも進んで事業を押し進める力をコンソーシアムという修行の場で学びとるようです。

是非、本財団に短期の出向でも結構ですので、私たちと共に京都の大学・短期大学、ひいては日本の高等教育のために、一緒に働き、共感しませんか？

第6回 京都学生祭典の魅力に迫る

「祭でつなげ!〜ひと・地域・未来の架け橋〜」をコンセプトに、「京都学生祭典」が今年も行われます。第6回を迎える同祭典のさらなる魅力に迫るべく、村井杏侑美さん(第6回京都学生祭典実行委員長)と、田中翔さん(第4回・同祭典実行委員長)にそれぞれお話を伺いました。

一まず、村井さんに京都学生祭典の見どころを伺いました。「一日目の“Kyoto Student Music Award”、二日目の“京炎 そでふれ!全国おどりコンテスト”は毎年恒例のメイン企画で、レベルの高い争いが繰り広げられます。」また今年からの新企画もあり、「本祭の告知として10月5日に行うパレードを、今年は三条通でも行います。本祭二日目に開催する“〜来て見て体験!〜みやこコレクション”も新企画で、みやこめっせ内に参加型ブースを設置します。テーマは学校で、子どもからお年寄りまで幅広い年代に楽しんでもらえると思います」。

一さらに、今年新たに打ち出された“KYO-SENSE”プロジェクトについては、「祭典終了後のゴミが多すぎるという反省から、昨年度は縁日にリユース食器を利用するなど、エコ活動に取り組みました。そこで今年は、エコ活動だけにとどまらず、学生からメッセージを継続的に発信していこうと考えたのです。京都学生祭典は京都の活性化を目指すものなので、エコのお祭りをするのではなく、京(KYO)都の昔ながらの知恵を、今日(KYO)を生きている学生ならではの新たなライフスタイルを提案していきたい」と村井さん。一また、祭典を盛り上げていく中で村井さんが一番大切にすることは、「実



行委員や祭典を作る人それぞれが“祭典の顔!”だ、という意識を常に持つようにすること」。第4回の広報活動において、田中さんは「自分がメディアへ出ることで、外部への情報発信と同時に、内部のメンバーへの意識を高められた。全員が同じ気持ちになり、祭りの成功につながるよう心掛けた」のだそうです。

「京都学生祭典の大きなテーマは、学生パワーを全国に発信すること」(田中さん)、「祭りに来てくれたお客さんから温かい言葉を戴いたときに、私たちの気持ちが伝わったと実感できる」(村井さん)というのは、お二人の言葉で特に印象的でした。「京都学生祭典」には、学生だけでなく京都市民の方々に楽しんでもらいたい、そしてこのお祭りを後世まで伝えていってほしい!という熱い思いが詰まっています。10月11日(土)と12日(日)には、



ぜひこの祭典に参加して、京都の学生のパワーを感じてみてください!!

インターンシップ生
井坂 彩音(写真左)
(同志社女子大学 学芸学部)



事業報告書 PROJECT REPORT

リエゾン・共同研究事業部

■ リエゾン事業

▶ 大学地域連携モデル創造支援事業

大学と地域が一体となったまちづくりや地域の活性化を目的とする事業を募集し、選考のうえ2008年度の助成対象事業を認定しました。

【募集期間】 4月25日～6月4日

【応募件数】 17件

【採択件数】 10件

【認定式】 7月9日に京都市役所において認定式を開催し、門川市長から各事業の代表者へ認定証が手渡されました。

■ 採択事業

1	京町家の坪庭、前栽の植生調査
2	太秦ヌーベルヴァークプロジェクト
3	京北の魅力を知り・伝え・活かすための「(仮称)京北スタディ・ツアー」プログラムづくり
4	伏見砂川・憩いの公園プロジェクト～公園をめぐる情報マップづくり～
5	北野商店街を中心とする精神に障がいをもつ人と地域の交流事業
6	臨地まちづくりの考えに基づくイベントを通じた地域活性化
7	東山区南部 地域振興プロジェクト
8	地域一丸つながり形成～相互理解と協力で住みよいまちへ～
9	伏見発信!!地域密着大岩山美観再生計画～民・官・学による新しい政策提言～
10	大枝04～みどりの停留所～



■ 共同研究事業

▶ 「共同研究プロジェクト」研究成果報告会

新たな京都の創造・創生を期する研究の推進をはかっている「京都学術共同研究機構」において研究助成を行ってきた共同研究プロジェクトの研究成果報告会を開催しました。当日は、大学教員、行政関係者、学生および一般市民の方に多数出席いただき、各プロジェクトリーダー・研究員からの研究成果の発表に熱心に聞き入っておられ、盛況裡に閉会しました。

【開催日】 7月3日(木)18:30～20:15

【会場】 キャンパスプラザ京都 第2講義室

【出席者数】 125名

■ 共同研究プロジェクト

研究課題	プロジェクトリーダー
京都門前町総合調査プロジェクト	杉本 理(大谷大学)
京都議定書第一約束期間後の地球温暖化防止の国際制度の研究	高村ゆかり(龍谷大学)
京都の伝統芸能をコアとした海外向けポータルサイト構築・運用実証実験	赤間 亮(立命館大学)
移動体メディアへの仏教関連コンテンツの配信に関わる学際的・学融合的研究	松川 節(大谷大学)
「外国人マイノリティの定住過程からみた持続可能な多文化共生地域コミュニティに関する研究—京都市南九条地区を対象として—	高田 光雄(京都大学)



「京都の大学『学び』フォーラム2008」開催概要

日 時	会場	会場名	ブース開設時間
10月 5日(日)	福知山	京都創成大学	11:00~16:00
10月25日(土)	京 都	大谷大学	9:00~15:00

「学び」フォーラムでは、京都の大学・短期大学が集まり、大学進学希望者の皆さんに模擬講義や体験型講座を提供します。興味のある学問分野をひと足先に体験することで、今後の学習意欲が高まり、皆さん自身の将来像もよりくっきりと見えてくるはずです。これらの企画を通じて、一つ上のことに挑む面白さを体験し、より高度な学習のための基礎力づくりの機会としてください。特徴のあるさまざまな授業の体験は、「学び」に対する新しい発見につながります。

■いろんな大学情報を集めよう!

各大学・短期大学には留学、インターンシップをはじめ特色あるプログラムがたくさんあります。もちろん、奨学金制度や就職支援などのサポートシステムも揃っています。各校の相談ブースでは、これらの仕組みについて詳しく説明してくれます。当日は皆さんの先輩である現役大学生や大学スタッフが親切にアドバイスとサポートします。※滋賀会場(龍谷大学瀬田学舎)は502人の参加で終了しました。[6月22日(日)]

プラザカレッジ京都学講座「全国プロジェクトin名古屋」開講案内

京都学術共同研究機構の情報発信事業のひとつとして、今年度は名古屋市において、京都が生み育てた能・狂言・歌舞伎・舞の基礎知識と「源氏物語」を描いた舞台作品を紹介する講座を開講します。

テ ー マ	「伝統芸能に近づく」
開 催 日	第1回 10月5日(日) 14:00~16:00 ◆「京都の芸能＜基礎編＞」 広瀬依子(上方芸能編集長) ◆「源氏物語と芸能＜応用編＞」 森西真弓(立命館大学教授) 第2回 10月26日(日) 14:00~16:00 ◆「狂言を楽しむ＜座学と実演＞」 茂山良暢(能楽師大蔵流狂言方)
会 場	名古屋市中心小企業福祉会館
申 込 方 法	事前申込・先着順(往復ハガキ、FAX、Eメールの何れかで申込受付)
受 講 料	無料

第6回京都学生祭典「祭でつなげ!~ひと・地域・未来の架け橋~」開催!

第6回京都学生祭典が10月11日(土)京都駅ビル・新風館、12日(日)平安神宮・岡崎周辺で「祭でつなげ!~ひと・地域・未来の架け橋~」をコンセプトに開催されます。子どもから大人まで楽しめる企画が盛りだくさんです。「『京都発』全国学生音楽コンテスト Kyoto Student Music Award」「街の音楽会」といった音楽企画を1日目に揃え、音楽を身近に、楽しく感じていただける工夫をしています。

2日目には、鮮やかな朱色の大鳥居が祭りへの期待感を高める平安神宮・岡崎周辺で、おどり企画を中心に開催します。全国各地から参加がある「京炎 そでふれ!全国おどりコンテスト」の開催や大学や企業の取組みを体験して学ぶ新企画「~来て見て体験!~みやこコレクション」、食べて飲んで遊べる「緑日」など多彩な企画を揃えています。

学生が祭りのすべてをプロデュースする京都学生祭典。大学のまち京都が発信するパワーをお届けします。

【お問い合わせ先】

京都学生祭典実行委員会事務局 電話:075-353-9432
e-mail:festa@consortium.or.jp
京都学生祭典HP: http://www.kyoto-gakuseisaiten.com/

プラザカレッジ21世紀学講座「暴力(バイオレンス)」開講案内

私たちの周りには、様々な暴力の危機が存在します。見方・切り方によっては本質に気付いていないということも沢山あります。本講座は、その気づきを考えていきます。初回は、映画監督の井筒和幸氏を講師にお迎えしてお届けします。また、各回も著名な研究者を講師に迎えておりますので、多数の方の受講をお待ちしております。(詳しくは、大学コンソーシアム京都のHPまたは配布中の案内パンフレットを参照してください)

開講日程 開講時間:14:00~15:30

10/19(日)	トークショー:LOVE&PEACE	井筒 和幸(映画監督)
10/26(日)	メディアの影響	松原 伸一(滋賀大学)
11/ 2(日)	国際政治における暴力	村田 晃嗣(同志社大学)
11/ 9(日)	暴力/非暴力、そして自由/不自由	古川 哲史(大谷大学)
11/16(日)	子どもたちにとって、ネットいじめはどれほど痛いか	原 清治(佛教大学)
11/23(日)	アメリカの差別と人権	ロバート F.ローズ(大谷大学)
11/30(日)	家庭内暴力の影響	野田 正人(立命館大学)
12/ 7(日)	公的暴力・私的暴力	上野千鶴子(東京大学)

会 場	キャンパスプラザ京都
申 込 方 法	事前申込・先着順(往復ハガキ、FAX、Eメールの何れかで申込受付)
受 講 料	受講料:有料

2008年度「職員のための大学セミナー」開催案内

大学コンソーシアム京都では、2006年度より中堅職員を中心とした幅広い層の大学職員を対象として、広く高等教育の課題や大学マネジメントに関わる重要事項について学んでいただくために「職員のための大学セミナー」を開催しています。

今年度のプログラムは以下のとおりです。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

開 催 日	11月7日(金)~12月5日(金) 毎週金曜日18:20-19:50
会 場	ハートピア京都(京都市営地下鉄丸太町駅下車すぐ)
受 講 料	[加盟大学]無料 [非加盟大学]1,000円

日 程	テーマ	講 師
11/ 7(金)	高等教育論	金子元久氏(東京大学教育学研究科教授)
11/14(金)	大学マネジメント	太田和良幸氏(神戸大学理事・事務局長)
11/21(金)	大学評価	安岡高志氏(立命館大学教育開発推進機構教授)
11/28(金)	大学経営	小林浩氏(リクルート「カレッジマネジメント」編集長)
12/ 5(金)	地域連携	友成真一氏(早稲田大学環境・エネルギー研究科教授)

インターンシップ・プログラム「トライアルコース」開催のご案内

大学コンソーシアム京都では、夏期にインターンシップ実習を行う「ビジネスコース」や「パブリックコース」、半年間の長期にわたるプロジェクト型インターンシップ「プログレスコース」に加え、低回生を対象とした「トライアルコース」を実施します。

この「トライアルコース」は、2006年よりスタートしたプログラムで、短期大学生や四年制大学の1~2年次生に対し、職業観や自らのキャリア形成に対する「気づき」を与えることを目的とするコースです。冬期の短期体験型ですので、実習期間も最低5日間と短めで、短大生が出願しやすいプログラムとなっています。また、実習日程が重複しなければ複数の実習先で実習ができるほか、夏のプログラムと同様、京都地域の大学生・短大生が混じってゼミを編成し、事前・事後学習、リスクマネジメント講習、ビジネスマナートレーニングなど、今後の学生生活やキャリア形成を考える上で必要な学習を集中的に行います。

今年も11月からの開講に向けて、10月より実習生を募集します。ぜひ多くの学生、短大生の出願をお待ちしております。

講 義 日 時	金曜日クラス・・・11月14日・21日・28日・2月20日・3月1日 日曜日クラス・・・11月16日・30日・2月22日・3月1日
<内容>	オリエンテーション、レポート(事前・事後)の作成、リスクマネジメント講習、ディスカッション、ビジネスマナートレーニングなど
出 願 対 象	加盟短期大学(専攻科を含む)1・2年次生ならびに四年制大学1・2年次生
出 願 締 切	10月15日(水)17:00まで *時間厳守
選 考 期 間	10月17日(金)~10月28日(火)
受 講 手 続	11月7日(金)・8日(土)10:00~17:00
実 習 期 間	12月8日(月)~2月19日(木)のうち5日間~1ヶ月程度

※詳しくは、「インターンシップ実習生募集ガイド」または本財団ホームページをご覧ください。その他ご不明な点等ございましたら、インターンシップ事業推進室(TEL:075-353-9106)までお問い合わせください。

第5回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの開催について

開 催 日	2008年12月13日(土)~2008年12月14日(日)
会 場	名古屋大学 東山地区(〒464-8601名古屋市中区東山不老町)
メインテーマ	「地域における学術・文化の創造と情報発信をめざして 一産学官民の連携による大学コンソーシアムの形成一」
主 催	全国大学コンソーシアム協議会
共 催	愛知学長懇話会、大学コンソーシアムセト

第4回政策系大学・大学院研究交流大会「京都から発信する都市政策」開催案内

政策系大学・大学院の学生・院生・教員がキャンパスプラザ京都に集まり、日ごろの研究や学習の成果を発表して研究交流を図るとともに、それぞれの研究成果を実際の政策や課題につなぐ機会にもしています。当日は、口頭発表、パネル発表、学生実行委員会特別企画などを行い、表彰式・懇親パーティーでの交流の場も設けています。大学生、大学院生、行政関係者、企業関係者、一般市民および高校生等の皆様多数のご参加を願っております。(詳しくは、大学コンソーシアム京都のHPを参照してください)

開 催 日	2008年12月14日(日)9:00~20:00<予定>
会 場	キャンパスプラザ京都

京都女子大学短期大学部

CAMPUS SCENE



京都女子大学短期大学部は東山三十六峰の南端、阿弥陀峯の中腹にあります。市バスでは「東山七条」で下車し、豊国廟参道を上ります。坂道(女坂)を上れば、緑の美しい閑静な、女子大学にふさわしい地です。本学は親鸞聖人の体せられた仏教精神に基づき、情操を高め、人間としての自覚を深めるとともに、すべての「いのち」を平等に愛する豊かな心を培うことによって、真の人間を育成することを教育理念としています。